
やめないで、フクちゃん！

三代渡吉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

やめないで、フクちゃん！

【Nコード】

N0304F

【作者名】

三代渡吉

【あらすじ】

フクちゃんがやめるって言い出した。やめちゃ駄目だよフクちゃん！

金曜日のクラス会。

週休二日制を取っているこの学校。つまり、明日から二連休だ。だからこそ、みんな早く帰って明日のために身体を休ませたいと考えている。

頭の薄い短パン小僧が教壇に立った。学級委員長のフクちゃんだ。フクちゃんは、頭は平凡、顔は猿みたいな奴で、特に他の人から見ても、毛が薄いことで四年生中に有名だった。

本人は大器晩成型というけれど、この年でこの薄さ。デコが汗で光っている。誰が見てももう手遅れだろうとしか思えない有様であった。

「今回は、皆さんに大事な話があります」

出た。フクちゃんはやる気が無さそうに見えて、意外と話すことは長い。

この切り出しは、絶対に長話になるパターンだ。誰もがそう思った。

「今日を持ちまして、僕は学級委員長の立場を退くことにしました」
退くって何？ クラスメイトの中でも秀才と呼ばれるハシちゃんに皆が聞くと、それは辞めることだという返答が返ってきた。

教室内がざわめく。

「なんでやめちゃうんだよ、フクちゃん」

「そうだよ。お前がやめたら、誰か他の奴があんな面倒くさい学級委員会に行く羽目になるんだぞ」

「大体お前さ、女子のリコーダー盗難事件だって解決してないのにさ、無責任じゃね？」

「ああ、やめんなやめんな！」

フクちゃんに向かって、野次が飛んだ。でも、本人はしれっとしている。

何を言われても聞く耳持たずという顔。腹が立つほどに無関心な顔。

勿論それは、クラスメイトの神経を逆撫でした。

さらに野次が飛んでいく中で、ついにフクちゃんは面倒になって、それに答えた。

「こう見えても僕は、お稽古事に通って、ママの手伝いをして、塾にだって通ってる。あなたとは違うんです」

そんな言い方されたら、他の黙っていた連中も怒る。

担任が收拾をつけようとするが、一向に収まらない。それどころか、唯一の大人なのに泣き始めている。これでは一生学級会は終わりが見えないだろう。

だけど、そんな中で、一人カッカッカとオッサンみたいな笑い方をする奴がいた。漫画を片手に話を聞いていたアソツちゃんだ。

「そんなにみんなガタガタ言うなら、俺がやるよ」

いつもニコニコとしながら漫画を読んでいるけど、実はクラスの曲者、アソツちゃん。

みんな、彼なら任せてもいいだろうと賛成の声をあげた。

するとさらに拳手があがった。野球系のユリちゃんに、プラモ部のイシ坊。他にもゾロゾロと手があがる。

アソツちゃんは曲者だけに、浮世離れたところがあって、逆に好かない奴もいるのだ。

早く帰りたいということを忘れて、みんな誰が次の委員長になるのか、ワーワーギャーギャー騒いでいる。

そんな中、フクちゃんは一人荷物をまとめると、そそくさと帰ってってしまった。

隣のクラスのザワくんは、「これで次の運動会で優勝旗は貰いだな」などと、ニヤニヤしながら、その荒れ果てたクラスを眺めていた。

早くお稽古に行かなきゃと、校庭を走るフクちゃん。

すごく急いでフクちゃんだったけれど、急に後ろからプシューという音がして、振り返ろうとした。

でも、それより先に後頭部へ重たいものが直撃してしまって、フクちゃんは頭から血を流して倒れた。

隣にある幼稚園の砂場で遊んでいたキムくんのペットボトルロケット「テッポドン」が、直撃したのだ。

キムくんは、キャッキャッと笑って喜んでいた。

今日は、キムくんの大好きな幼稚園の誕生日なのだ。

（後書き）

みなさんもミサイルには気をつけましょうね！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0304f/>

やめないで、フクちゃん！

2011年1月6日14時26分発行